

『不思議な出来事（2）』

数年前に、あるご夫妻の話を耳にしました。ふたりとも当時60代だったと思うのですが、「癌」だということでした。時に、その奥さまが手を骨折したということをも聞きましたので、癌のこととあわせてお祈りしていました。その間、骨折は良くなったということでしたが、それから今に至るまで日々癌が癒されるようにお祈りしているのですが・・・昨年、そのご夫妻のことをある方に聞いたところ、何でも癌はそのままだということなのですが、しかし特に痛がっているわけでもなく、時々ご近所の方たちと旅行を楽しんだり、また、他の人たちと交流するために積極的に外出されているそうです。

ご夫妻が癌になったということを知って、早10年近くが経ちますが、その当時と全く変わらずに生活されていらっしゃるのをお伺いして、正直びっくりでした。もちろん「癌」と言っても色々なパターンがあるかと思うのですが、とても明るい方たちだそうで、いつの間にか癌のことなんて忘れているのかも知れないなあなんてことも思いました。「病は気から」なんていうことばもありますので、それもそうなのかもしれませんが、もしかすると私のほんのささやかなお祈りにも神さまは耳を傾けてくださっているのでは？なんてことも思いました。と言うのは、神さまに祈ると不思議なことがいつも起きるからです。絶対にそうです～、とは言えませんが、願わくばそのご夫妻がイエスさまを知る機会も与えられますように、なんていうお祈りもしているので、そのことを神さまはお喜びになって、少しずつお祈りにこたえてくださっているのでは？とも思います。

あるクリスチャンの方や私が今通っている教会の牧師が言われていたのですが、「どんなことでも祈ってみるものだ」ということを小耳に聞いていたのですが、それはもしかすると本当かもしれない、と思いました。お祈りはクリスチャンの特権とも言えるのですが、「これはいくらなんでも絶対に無理！」と思ったとしても、ひょっとしたら、なんてこともありますので、よろしければ実践してみてください。神さまは私たちの切実なお祈りに耳を傾けてくださって、御心なら奇跡を起こしたり、不思議なわざをしてくださるので、何かありましたら信じてお祈りしてみると良いかもしれません。

71:7 私は多くの人にとっては奇蹟と思われました。あなたが、私の力強い避け所だからです。(旧約聖書[新改訳]:詩篇71篇7節)

